

とちぎ 県政のあゆみ

2013

編集・発行
栃木県広報協会
2014年3月1日発行



2-3月



2月17日、益子町民会館で地域医療フォーラムを開催し、約300人が参加しました。「宮崎県北の地域医療を守る会」事務局長の福田さんを招いた基調講演では、地域の医療を守るための住民の取組が紹介され、また、医療従事者や住民代表によるパネルディスカッションでは、芳賀地域の救急医療の現状や課題について、県民・医療機関・行政が共に考え、理解を深めました。9月8日には、下野市でも地域医療フォーラムを開催しました。

2月

救急医療の現状と課題を討論 地域医療フォーラム

1月



放射線物質の影響による風評被害を払拭し、本県農業の元気回復を図るため、県産農産物の安全・安心をPRするラッピング電車を1月14日から27日までJR山手線で運行しました。「元気です!とちぎの農業」をキャッチフレーズに、本県の代表的な農産物である「いちご」「野菜」「畜産物(牛乳、牛肉)」「米」の写真を車輻に掲載しました。ラッピング電車を見た消費者の方々からは、「栃木の農業を応援したい」「農業の活性化につながるPRに期待します」などの感想が数多く寄せられました。

1月

元気です!とちぎの農業 ラッピング電車で農産物の安全・安心PR

3月

復興への思いを新たに 東日本大震災とちぎ復興のつどい



東日本大震災から2年を迎えた3月11日に、県庁において「東日本大震災とちぎ復興のつどい2013」を開催しました。式典では、震災で犠牲になられた人たちに哀悼の意を捧げるとともに、福田知事が震災復興に向けた決意を述べました。式典後は、県民ロビーで鹿沼児童合唱団ポコ・ア・ポコと栃木県警察音楽隊による「復興のつどいコンサート」を行い、コンサートの最後には全員で童謡「ふるさと」を歌いました。

1月

伸ばそうとちぎの教育力 栃木県教育研究発表大会



1月25・26日、平成24年度第13回栃木県教育研究発表大会が、栃木県総合教育センターで開催されました。2日間の参加者は、のべ1134人。学校教育と生涯学習に関する19の部会で47の研究発表が発表されました。多くの部会で発表の後に研究協議が行われ、今後の教育活動に発表内容をどのように活かすかなど、参加者が活発に意見交換し、互いに学び合っていました。

3月

地方から日本を元気に! 地方分権・地方自治フォーラム

3月9日、地方分権・地方自治フォーラムを日光市今市文化会館で開催しました。当日は、県民や自治体関係者ら約460人が参加しました。白鷗大学の福岡政行教授による基調講演「日本の課題―地域の力を引き出すために―」に続いて、パネルディスカッションでは、福田知事や斎藤日光市長が福岡教授を交えて活発に意見交換し、参加者と一緒に地方分権・地方自治の意義について理解を深めよう機会となりました。



1月

災害時に高齢者施設と協力 高齢者施設団体と県が基本協定を締結



県内や近県で地震、風水害、火災などの災害が発生したとき、または発生するおそれがある場合に、被災施設利用者の安全で安心な生活環境の確保などを図るため、栃木県老人福祉施設協議会、栃木県老人保健施設協会及び栃木県認知症グループホーム協会と県との間で、災害時における老人福祉施設の応援、協力などに関する基本協定を締結しました。県と事業者団体が相互に協力し、被災施設利用者の一時的な受入れ、食料、飲料水などの生活必需品や車いすなどの供給、職員の派遣などについて、施設間で相互に応援協力をを行います。



栃木県警察は4月1日、「捜査支援室」と「検視官室」を発足させました。「捜査支援室」では、犯罪情報を総合的に分析するなど、事件の犯人をいち早く検挙するための捜査支援を推進しています。「検視官室」は、犯罪死の見逃しや孤立死問題など、検視に対する県民の関心が高まる中、専門的知識を有する検視官による緻密かつ適正な検視業務を推進しています。

4月 捜査支援室と検視官室を新設
栃木県警察



平成25年度新規就農者数（平成24年5月～平成25年4月）は245人で、調査開始以来最高となりました。このうち、39歳以下の青年農業者は149人で全体の61%を占めています。また、就農形態としては、農家出身者が他産業に従事した後に就農する場合が178人（73%）と、最も多くなっています。また、非農家からの新規参入は近年増加傾向にあり、調査開始以来最高の29人（12%）となりました。県では、就農相談会や各種啓発活動を行い、農業の魅力の情報発信をするとともに、就農希望者が円滑に就農できるよう、青年就農給付金の活用推進や就農支援情報発信、「とちぎ農業未来塾」などでの技術習得機会の提供など、農業の内外からの人材の確保・育成に取り組んでいます。

5月 新規就農者数が過去最高に

とちぎ農業未来塾」などでの技術習得機会の提供など、農業の内外からの人材の確保・育成に取り組んでいます。

5月31日、県内ものづくり企業の新たな取引先獲得に繋げることを目的に東京都千代田区の日立製作所お茶の水ビルで「とちぎ技術展示商談会」を開催しました。出展した41企業は、情報・通信、電子装置、社会・産業、高機能材料など多くの部門を有する日立製作所グループに対し、自社の持つ技術・製品を積極的にアピールしました。



5月 とちぎの技術を日立にアピール
展示商談会 in Hitachi

3月13日、ブロードバレーとちぎ観光地商談会を日光市で開催しました。これは、県内観光地の旅館、ホテル、物産店などに、「とちぎ」ならではの農産物や加工商品を食材や土産品として取り扱ってもらうことで、観光客として訪れる県内外の消費者への販路拡大や情報発信につなげようと開催したものです。県内の36社・団体が出展し、来場した観光事業者などに試食・試飲を交えながら、各社自慢の商品をPRしました。



3月 県産食材 観光向けにPR
ブロードバレーとちぎ 観光地商談会



主要地方道羽生田上蒲生線助谷バイパスが完成し、3月23日の供用開始に併せて、分譲開始記念式典を開催しました。このバイパスにより「産業未来基地」とちぎ中央」と北関東自動車道壬生IC間が車で5分となり、交通アクセスが向上しました。進出を計画する企業にとって、更に魅力のある産業団地となるとともに、地域経済の活性化に寄与するものと期待されています。

3月 産業団地へのアクセス道路が開通
「産業未来基地」とちぎ中央

栃木県警察は3月27日、小山環状線のJR水戸線南側交差点に、小山警察署「犬塚交番」を新設して業務を開始しました。同交番は、住宅地や商業地域が拡大するなど、発展著しい市街地南東部の安全と安心を守る拠点として、旧「犬塚駐在所」と旧「神鳥谷駐在所」を廃止して新設したものです。建物はレンガ調の二階建てで、来訪者用駐車場や多目的に使用する会議室を整備し、利便性と機能性に優れた交番です。



3月 犬塚交番（小山市）が開所
地域の新たな治安の拠点



13歳未満の子どもにつきまとったり、子どもポルノの廃棄命令に背いた場合などに罰則を与える「栃木県子どもを犯罪の被害から守る条例」が7月1日、施行となりました。同様の条例は、奈良県や京都府、大阪府に次いで全国4例目となります。県警察は今後も、条例の広報啓発に取り組むことで、県民、事業所などと連携し、県民全体で子どもを安全を守る気運の醸成を図るなど、子どもを安全確保に努めてまいります。

7月

子どもを犯罪から守ろう
県子どもを犯罪の被害から守る条例施行



イベントやとちきヤラースによる交流ステージなど、のべ5万人が来場し終日にぎわいました。

6月

栃木県誕生140年を祝う
県民の日記念イベント

栃木県誕生140年を記念して6月15日に「県民の日記念イベント」が県庁舎、議会議事堂、県総合文化センターを会場に盛大に行われました。県民の日は、明治6年6月15日に当時の栃木県と宇都宮県が合併して、おおむね現在と同じ形の栃木県が誕生した日です。当日は、オープニングセレモニー後に行われた、栃木・茨城・福島県の3県警音楽隊合同による「県民の日記念演奏会」復興支援コンサート」のほか、出展

6月

国道拡幅をみんなで祝う
新4号国道6車線・国道4号4車線化



2013年4月、新4号国道の県南部茨城県境から宇都宮区間の6車線化と国道4号の宇都宮から東北道矢板インターチェンジ区間の4車線化の完成を祝して、栃木県誕生140年の節目を迎えた県民の日に「栃木県内の新4号国道6車線化・国道4号4車線化実現県民祝賀会」を「道の駅しもつけ」で開催しました。石橋中学校吹奏楽部や愛泉童子太鼓のみなさんによる記念演奏などが花を添え、県民みんなでお祝いました。

7月

全面リニューアルオープン
井頭公園一万人プール



一万人プールは、1973年のオープン以来、多くの県民に愛され利用されてきましたが、東日本大震災により被災し、2011年の営業は見送らざるを得ませんでした。その後、多くの再開要望を受け、昨シーズンの一部オープン後、鋭意復旧工事を進めてきたことにより、7月13日に全面的にリニューアルオープンすることができ、今シーズンは約19万人に楽しんでいただきました。

6月

モニタリング訓練など実施
本県初の原子力防災訓練



原子力災害対策の習熟と意識の向上を図り、県民の安全・安心を確保するため、6月24日、那須烏山市において本県で初めてとなる原子力防災訓練を実施し、県や市町の職員、消防など約300人が参加しました。訓練では、通報連絡訓練、避難・誘導訓練、モニタリングやスクリーニング訓練を行ったほか、栃木県原子力災害対策専門委員会の鈴木元委員長から原子力防災に関する講演をいただきました。

7月

国体の本県開催が内々定
2022年第77回国民体育大会

7月24日、国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会の、2022年本県開催が内々定となりました。本県では1980年の「栃木の葉国体」以来、42年ぶり2回目の開催となります。国体の会期は、9月中旬から10月中旬の11日間以内とされており、開催3年前に決定されます。また、国体終了後には、全国障害者スポーツ大会が開催されます。



7-8月 世界大会メダリストを表彰
 栃木県スポーツ功労賞

県は、7月と8月に開催された世界選手権などにおける本県出身のメダリストに対し、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉を讃え、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。受賞したのは、宇賀耶早紀選手（第22回夏季デフリンピック競技大会IIソフィアバレーボール女子で銀メダル）、萩野公介選手（第



萩野公介選手



宇賀耶早紀選手

15回世界水泳選手権競泳競技IIバルセロナII400m自由形と200m個人メドレーで銀メダル）、高藤直寿選手（第31回世界柔道選手権大会IIリオデジャネイロII男子個人戦60kg級で金メダル）、海老沼匡選手（同66kg級で金メダル）の4人。表彰式では、各選手が、応援に対する感謝の気持ちや今後の抱負を述べました。



海老沼匡選手



高藤直寿選手

8月

利根川流域の治水・利水を決議
 足利で治水大会

8月9日に足利市民会館で第64回利根川治水同盟治水大会（利根川流域1都5県の自治体で構成される利根川治水同盟など主催）を開催しました。同大会には、関係者ら約1200人が来場し、国に対し、利根川流域の治水・利水事業の強力な促進等を求める決議文を全会一致で可決するとともに、有識者による講演を行い、利根川流域の治水・利水についての理解を一層深めました。



7月

社会的自立を支援
 とちぎユースアフターケア事業協同組合

7月1日、児童養護施設などで育った人たちの社会的自立を支援していくため「とちぎユースアフターケア事業協同組合」が設立されました。当該事業協同組合は、県内の全ての児童養護施設と自立援助ホーム、栃木県里親連合会が加入している組織で、退所した人たちの自立をオール栃木で支援していくことを目的として、生活、住居、就労などの相談や、生活資金などの貸付を行っています。



7月

創意工夫とチャレンジで収益力向上を
 農業の6次産業化シンポジウム

農業の収益力を高める6次産業化の取組を促進するため、7月25日、栃木県産業技術センターを会場に「農業の6次産業化シンポジウム」を開催しました。四万十の農産物を使ったヒット商品を次々に生み出している(株)四万十ドラマの畦地履正代表による講演のほか、県内の先駆的な実践者による事例発表やパネルディスカッションに約180人の来場者が熱心に耳を傾けていました。



7月

美味しく・涼しく・HAPPYに
 食の夏まつり

暑い夏を元気に楽しむ食の交流イベントとして、多彩なジェラートをはじめ、県産の新鮮な農産物や地産地消グルメなど、県内各地の食を一堂に集めた「食の夏まつり」を7月26日に県庁を会場として開催しました。中でも県産農産物を使用したこだわりのジェラート58種類の食べ比べや新作コンテストには長蛇の列ができるなど、多くの方に「美味しく・涼しい」夏の夕べを満喫していただきました。



8月

「おいししゃ」「健康」「地産地消」をキーワードに、「飲食店部門」「社員食堂部門」「弁当部門」「新たな郷土の食部門」の4部門で「とちぎのヘルシーグルメ選手権」を開催しました。627の応募作品の中から書類審査と調理実演、試食による審査の結果、各部門ごとに最優秀賞、優秀賞、優良賞の受賞作品が決定しました。受賞作品は10月19・20日の「とちぎ、食と農」ふれあいフェア2013」で販売や試食等を行い、県民に披露するとともに、レシピ集を作成し広く普及を図りました。



8月 健康長寿を食でサポート とちぎのヘルシーグルメ選手権

8月 入館者300万人達成! 栃木県ながわ水遊園



8月6日、大田原市にあるながわ水遊園の「おもしろ魚館」において、入館者300万人達成記念式典が行われました。300万人目の入館者となったのは、東京都大田区から来園した3世代5人連れの御家族で、県農政部長からお祝いの花束が、また、県農業振興公社や地元の市町からたくさんのお祝いの品が贈られました。2001年の開園から丸12年、関係者が改めて来園者サービスの向上を誓い合いました。

8月 食と田園の魅力を発信 とちぎの食と田園魅力発信フォーラム

8月22日、「とちぎの食と田園魅力発信フォーラム」を県庁講堂で開催しました。この日は、とちぎのふるさと田園風景百選写真コンテスト（冬春編）の表彰式とあわせ、写真家沼田早苗氏によるセミナー「田園風景撮影のポイント」とブログ「いちごのこほろ時間」の作者らと交えてブログを使った情報発信や本県の魅力についてトークセッション（写真）を行い、本県の田園風景や食の魅力を実感していただきました。



8月 やめようと言える勇気でいじめゼロ いじめ防止県民大会



社会全体で「いじめの問題」の解決を目指す必要性を発信し、いじめのない環境をつくるための行動を起こす機運を高めるため、標題の「いじめ防止」スローガンとロゴマークデザイン（右図）を決定しました。さらに、8月8日にとちぎ男女共同参画センターにおいて「いじめ防止県民大会」を開催しました。スロー

ガン、ロゴマークデザインの優秀作品の表彰、いじめの問題に関する講演会やシンポジウムを通して、参加者は、それぞれの立場で、今何をすべきかを考えました。「いじめの問題」に対する大人の姿勢を明らかにした「大会宣言」で大会を締めくくりました。

8月 遙かなる宇宙への想い とちぎ航空宇宙シンポジウム



8月28日、マロニエプラザで「とちぎ航空宇宙シンポジウム2013 遙かなる宇宙への想い」が開催されました。このシンポジウムは帝京大学の小型人工衛星（TeikyoSat-3）開発の支援と本県の航空宇宙産業の活性化を目的に実施されたものです。会場では漫画家の松本零士さんをお招きしてのトークショーやJAXA職員などによるパネルディスカッションなどが行われ、大盛況でした。

9-10月

9月29日に県総合運動公園などを会場として、第9回栃木県障害者スポーツ大会が開催されました。この県内最大の障害者のスポーツ大会に1800人を超える選手が県内各地から参加し、陸上、卓球、水泳、アーチェリーなど9競技で力一杯頑張る勇氣と感動を与えてくれました。また、会場内のふれあい広場では、訪れた人たちが、障害者スポーツなどの体験を通し、楽しく交流を深めました。



障害者の自立と社会参加を促進
県障害者スポーツ大会

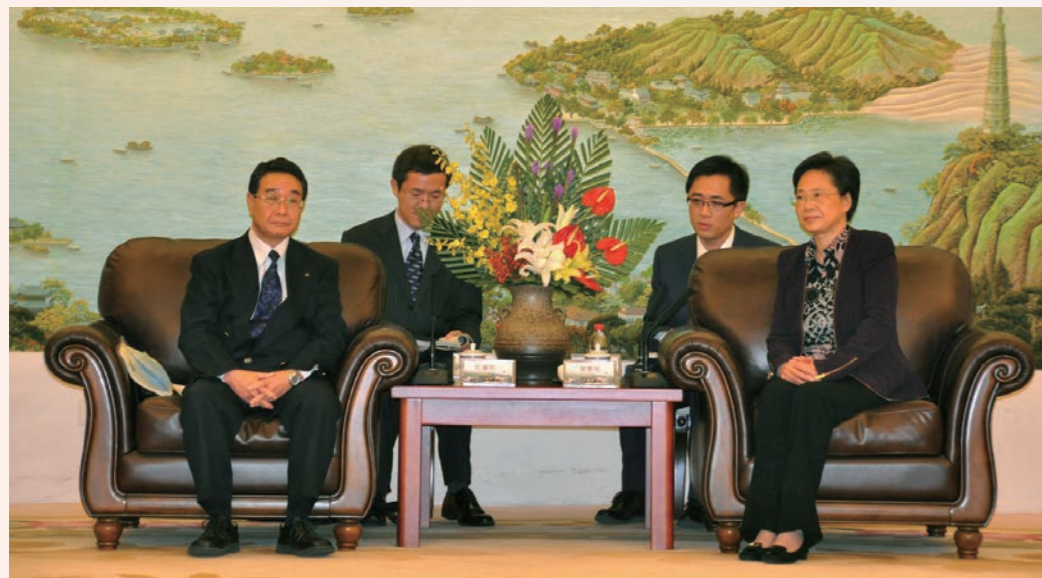
10月

浙江省との友好交流

浙江省友好提携20周年



栃木県の友好交流先である浙江省との友好提携20周年を迎え、この節目を祝賀するため相互で記念行事を開催し交流代表団を派遣しました。10月には浙江省人民代表大会常務委員会馮明副主任が来県（写真右）し、



12月には佐藤順一副知事が浙江省を訪問（写真左）しました。20周年を契機に、教育・文化等の交流に加えて、今後は県と足利銀行が連携しながら浙江省との経済交流に取り組むことで合意しました。

9月

9月1日、渡良瀬運動場で、県と足利市との共催で総合防災訓練が行われました。東日本大震災の教訓を踏まえ、警察・消防・自衛隊などが連携した捜索・救助をはじめ、地域住民などによる初期消火・避難、DMAT（災害派遣医療チーム）やドクターヘリによる救助、ライフライン復旧、災害時の応援協定に基づく緊急物資輸送などさまざまな訓練が行われ、100団体、約1450人が参加しました。



9月 警察・消防・自衛隊が連携
県・足利市総合防災訓練

9月

とちぎ発！エコダム宣言

寺山ダムESCO事業発電開始

9月11日、矢板市の寺山ダムで、寺山ダムESCO事業 発電開始式が行われました。ダムESCO事業は、民間事業者が県のダムを活用し、水力発電と施設の省エネ化を行うもので、栃木県が考案した全国初の事業です。寺山ダムでは、民間事業者が、水力発電設備や省エネルギー設備の設置・運営を18年間行い、売電して得た収益はダムの維持管理費に充てられます。



9月

とちぎへの想いを語る！

知事と元ジュニア知事さんのつどい



93年度から県内の小学4～6年生を対象に「もし、私が知事になったらこんなことをしてみたい」というテーマで作文を募集し、12年度で20回目を迎えました。そこで、9月14日、県庁講堂において、知事賞を受賞した元ジュニア知事さんが一堂に会するつどいを初めて開催しました。45人の元ジュニア知事さんが集まり、小学生の頃描いた栃木県と現在の違いや県外から見た栃木県、栃木県の自慢や誇りなどについて、知事との活発な意見交換が行われました。

10月17日、県総合文化センターで、環境省、関東地方環境事務所、栃木県、3R活動推進フォーラムの主催による「第8回3R推進全国大会」が開催されました。当日は、3Rに関する各種表彰、記念シンポジウムが行われ、特別講演では、3R推進マイスターの白井貴子さんが「私の3Rとエコライフ」と題して、家庭での生ごみの堆肥化など、ご自身の取組を紹介し、身近なりサイクルの大切さを呼びかけました。大会には約300人が参加し、3Rの推進や循環型社会の形成に向けた取組の大切さについて理解を深めました。



10月 循環型社会の構築へ！
第8回3R推進全国大会

10月 ご当地グルメが大集合
とちぎ元気グルメまつりin那須塩原

食の魅力を通じた観光誘客の促進や風評被害の払拭を目的に、県内各地のご当地グルメが勢揃いした「とちぎ元気グルメまつりin那須塩原」を10月14日、那須野が原公園で開催し、約6万6000人の来場者がグルメを堪能しました。今回は、県内各地域の34のグルメがエントリーし、来場者による投票の結果、「おやま和牛ステーキ串」（小山市）が栄えあるグランプリに輝きました。



10月 一年前イベントを開催
ねんりんピック栃木2014



ねんりんピック開催まで、ちょうど1年となる10月5日、県庁を会場に「ねんりんピック栃木2014」一年前イベント」を開催しました。記念式典では、知事ととちまるくんによるカウントダウンボードの点灯式や、地元学生がデザインしたオリジナル切手の贈呈式を行ったほか、競技会場となる市町のPRコーナーや県内グルメコーナーなどに多くの方が来場し、ねんりんピックへの参加の機運を盛り上げました。

10月 本物ここにあり！
とちぎ食と農ふれあいフェア

10月19日・20日に『本物ここにあり！美味しい楽しい感じる栃木！』をテーマに「とちぎ 食と農 ふれあいフェア2013」を、県庁と周辺施設を会場として盛大に開催しました。今回、目玉企画として、県産の新米を釜炊きにして提供し、来場者は素材の持つ本来の味を堪能していました。また、13エリアの各出展者も「こだわりの詰まったこれぞ本物の逸品」を提供するなど、本県の食と農の魅力を実感していただいた2日間でした。



10月 県民総スポーツを推進
とちまるフェスタ

2013年度とちまるフェスタ、栃木県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル「開会イベント」が、10月5日に栃木県総合運動公園で開催されました。雨天にもかかわらず、多くの県民の皆様に参加いただきました。記念イベントでは、NHKテレビ・ラジオ体操指導者、西川佳克氏による健康エクササイズ教室が開催され、参加者は楽しく、無理のない体操で心身ともにリフレッシュしていました。また、今回は第



13回全国障害者スポーツ大会（スポーツ祭東京2013）に出場する選手にも参加していただき、イベントを盛り上げていただきました。

10月 みんなで「とちまるくん」を祝福
「とちまるくん」のお誕生日会



栃木県マスコットキャラクター「とちまるくん」のお誕生日会を10月19日に開催しました。11月11日のお誕生日よりも少し早いお誕生日会でしたが、バスデーソングや花束のプレゼント、たくさんのお祝いメッセージカードをいただくなど、「とちまるくん」は、多くの方にお祝いしてもらいました。また、記念撮影やサイン会なども行われ、みんなで一緒に誕生日会を楽しみました。

知事は、原子力災害による風評被害の払拭や観光客の誘客と県産品の販路拡大を図るため、10月31日から11月2日にかけて香港を訪問し、政財界や旅行エージェンツに対し、本県の安全性と魅力を強力にPRするとともに、一部食品に関する輸入規制措置の早期解除の働きかけを行いました。(写真右は10月31日のレセプション)



10月 香港で知事がトップセールス 風評被害の払拭、観光誘客、県産品の販売を促進

県産農産物の輸出促進を図るため、「栃木県産農産物等食材提案会」を開催し(写真左)、知事や本県農業団体のトップが、現地の食品バイヤーやホテルのシェフなどに「とちぎ和牛」や「なすひかり」などのおいしさや魅力をPRしました。当日は「とちぎ和牛」の利用目的に応じた切り分け方の実演や県産食材を使用した料理の提案、提供や商談を行いました。



また、「栃木県観光説明会」では、現地の旅行会社に対し、栃木県の観光地の魅力をPRしました。さらに、香港の大型商業施設において、「とちぎのいいもの物産展in香港」を開催し(写真右)、県産品の販売を通じて、香港の皆様にも本県の魅力をアピールしました。



10月 食と健康を楽しく学ぶ ときぎ食育推進大会



栃木県と栃木県教育委員会、ときぎ食育推進連絡会の主催で「ときぎ食育推進大会2013」を10月23日に県総合文化センターで開催しました。食育に関する各種コンクールの表彰に続き、食文化史研究家の永山久夫氏が「郷土のものを食べて、100歳元氣!」と題して講演を行い、健康寿命を延ばすためには和食の持つ力に注目するべきだと呼びかけました。大会には関係機関・団体など280人が参加し、講師の愉快な語り口を楽しみながら、元気で長生きするための食生活について理解を深めました。

10月 出荷制限を一部解除 施設栽培原木生しいたけ

東日本大震災に伴う原発事故により、県内のきのこや山菜など多くの特用林産物で国(原子力災害対策本部)から出荷制限が指示されている状況が続いていましたが、県の生産工程管理基準に基づく取組が実を結び、10月23日、矢板市の原木生しいたけ(施設栽培)について、出荷制限の一部解除が実現しました。今後は、この取組を県内各地に広げ、県産しいたけの安全性を確保するとともに、全国有数の生産量を誇った本県しいたけ産業の復興を図っていきます。(写真II下野新聞社提供)



10月 スピードダウン運動を普及推進 運動推進車出発式



栃木県警察は、「いつもより5キロ減速安全運転」をスローガンに「スピードダウン運動」を推進中です。2013年11月中の1か月間を広報啓発強化月間に設定し、10月30日には県庁前広場において、多くの関係機関・団体などの参加を得て、「スピードダウン運動推進車出発式」を開催して、速度過大による危険性を訴えるとともに、安全速度を守るペーサーカー車の更なる普及・拡大を図りました。



11月9日、栃木県消防学校で、県と日本赤十字社栃木県支部との共催により、災害時の急性期医療を担う災害派遣医療チーム（DMAT）の訓練が行われました。訓練には、DMAT指定病院や塩谷広域行政組合消防本部などから約100人が参加し、竜巻により局所的な災害が発生したとの想定のもと、DMATと消防機関が連携しながら、救助活動や患者のトリアージ、救急医療活動など、実践的な訓練が行われました。

11月 災害派遣医療チームと消防機関が連携
栃木県DMAT実動訓練

11月 障害者の自立と社会参加を促進
カルフルとちぎこころのつどい



栃木県障害者文化祭が、11月1日・2日に宇都宮市のとちぎ福祉プラザで開催されました。参加した障害者は、芸能発表、作品展示、製作品販売コーナーや模擬店など、日頃の文化活動の成果を一生懸命発表し、来場者との交流を楽しんでいました。また会場内では、アイマスク体験コーナーなど当日参加可能な催しも多数用意され、訪れた人々が互いに大いにふれあった2日間となりました。

11月 咲かせよう思いやりと笑顔の花
ヒューマンフェスタとちぎ



「咲かせよう 思いやりと笑顔の花」をテーマに11月10日、「ヒューマンフェスタとちぎ2013 in 大田原」が

県北体育館（大田原市）で開催されました。この催しは、県民一人ひとりが、人権についてより身近なものとして考え、人権意識を高めてもらうために行っているもので、県北地域での開催は今回が初めてです。会場では、人権に関する作文・イラストの表彰式や、聴導犬のデモンストラーション、精神科医の香山リカさんの講演などが行われ、約4500人の来場者で賑わいました。また、各種人権啓発ブースやさまざまな参加体験型のブースでは、多くの参加者が人権の大切さを実感していました。

11月 県民の大切な財産を守ろう
被害防止キャッチフレーズを選出

栃木県警察では、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害を防ぐためのキャッチフレーズを、一般、家族向けなどの4部門で募集し、11月5日、「今だけここだけあなただけ」そのセリフって詐欺じゃない?」「息子たち お金要るなら顔見せて」など優秀作品の表彰を行いました。2013年中の被害額は12億円を超え、今後も、官民一体となった予防活動を推進するなど、特殊詐欺の撲滅に努めてまいります。



11月 放射性物質と食品の安全性を考える
とちぎ食品安全フォーラム



11月7日に栃木県総合文化センターで、「放射性物質と食品の安全性について」をテーマに、とちぎ食品安全フォーラムを開催しました。放射線医学総合研究所の吉田聡さんによる「放射性物質の特用林産物（きのこ類、山菜類など）への影響について」の講演、県の食品安全の取組の報告、きのこ生産者や消費者の代表、専門家などと、参加者との意見交換を行い、放射性物質と食品安全についての理解を深めました。

11月 糖尿病に危機意識をもとう
足利学校などブルーライトアップ

栃木県の糖尿病患者は5万人と推定され、今後も増加することが予想されています。増え続ける糖尿病への危機意識を高め、糖尿病の予防や治療について考える機会とするため、11月14日の「世界糖尿病デー」にあわせて、シンボルカラーの「ブルー」で建築物などをライトアップするものが全国で行われています。県内では、県庁昭和館と史跡足利学校でライトアップが行われました。





国民の祝日「山の日の制定に向けた県内の機運醸成を図るため、11月29日に栃木県公館で、「山の日」をつくろう栃木県連絡協議会（会長＝喜内敏夫県山岳連盟会長）が設立されました。県内の山岳、観光、経済、農林、マスコミなど19団体が構成員となり、県民のみならず山の魅力をPRし、山に親しんでもらうため、連携してアピール活動を実施していきます。

11月

「山の日」をつくろう

栃木県連絡協議会を設立

11月

ひろげよう障害者スポーツ
障害者スポーツフェスタ



11月24日に障害者スポーツフェスタ2013が、とちぎ福祉プラザ、わかさアリーナ（宇都宮市）で開催されました。会場にはプロスポーツ選手も訪れ、障害のある人もない人も一緒にコントロール・アタック（写真）や車椅子バスケットボールなどの障害者スポーツを体験し、交流を深めました。また、とちぎ未来大使えりのあさんと障害者音楽サークルによるコンサートも行われ、楽しいひとときを過ごしました。

11月

大規模災害の発生に備える
群馬県警察と合同災害救助訓練



栃木県警察は11月27・28日、群馬県警察と合同で大規模災害を想定した災害救助訓練を行いました。訓練では、被災者が建物内に取り残されているとの想定のもと、取壊し予定の建物を使用して行いました。高所への進入、建物を一部破壊しての救助口の確保、被災者の吊り上げ救助、エアーマットを活用した緊急脱出訓練などを実施し、災害発生時における対処能力の向上を図りました。栃木県警察が主催して他県の警察と合同で災害救助訓練を行うのは、今回が初めての試みとなりました。

11月

災害に強いとちぎづくり
東日本大震災 土砂災害復興記念式



11月30日、さくら市倉ヶ崎地区で「東日本大震災 土砂災害復興記念式」を開催しました。この式典は、県内6か所で発生した土砂

災害の対策工事が完了したことから、これまで支援いただいた方々への報告と災害の歴史を後世に引き継ぐことにより防災意識の向上を図るため開催したもので、ここに至るまでお世話になった多くの関係者に出席いただきました。また、式典後には安全な県土を築くという想いを込めた石碑の除幕も行われました。

11月

15年度から一斉指定
個人住民税の特別徴収義務者

県と市町で構成する「栃木県地方税滞納整理推進機構」の会議が11月25日に開かれました。会議では、栃木県内全市町で、法令遵守と納税者の利便性向上のため、2015年度から個人住民税の特別徴収義務者を一斉に指定することが決まりました。特別徴収義務者に指定された事業者は、従業員の毎月の給与から個人住民税を天引きして納めていただくこととなります。また、納税者である従業員にとっては、金融機関などに出向いて納付する必要がなくなるなどのメリットがあります。実施までの間、市町と県は各関係団体や事業者、従業員に実施の周知活動を行っていきます。

専業主婦のお母さん・従業員のお母さんに お知らせです！
栃木県内全市町で 平成27年度から
個人住民税の特別徴収義務者への指定を一斉に行います
給与所得者（お母さん）の方の個人住民税が特別徴収（お母さん）になります

11月

小川政次さんら2人を表彰
県文化功労者表彰式



本県文化振興に著しく貢献された方々を、栃木県文化功労者として表彰しています。今年度の県文化功労者には、江戸神輿造りの技術を継承し、栃木県指定無形文化財（工芸技術）保持者に指定されている小川政次さんと、吟詠剣詩舞の普及、発展などに尽力された鈴木恵子（凱山）さんが選ばれました。第1回表彰（1949年）以来の受賞者は、合計139人（学術36人、芸術74人、その他か29人）になりました。



12月

産業・経済の活性化に期待
真岡宇都宮バイパスが開通

真岡市と宇都宮市を結ぶ一般国道408号真岡宇都宮バイパス（延長5.2キロ）が、12月21日に開通しました。現道は、工業団地群への通勤車両や物流車両の通行が多く、慢性的な交通渋滞が発生していました。本バイパスの開通により、清原工業団地や宇都宮テクノポリスセンター地区などから北関東自動車道真岡インターチェンジへ直接アクセスすることが可能となり、物流の効率化や交通渋滞の緩和、事故の減少、更

には地域の産業・経済活動の活性化に大きく貢献するものと期待されます。

12月

都内でPRイベント開催
いちご新品种「スカイベリー」

いちご新品种「スカイベリー」の認知度向上を図るため、12月5日に東京都渋谷区の渋谷ヒカリエでPRイベント「いちご王国とちぎからメリーベリーグリスマス」を開催しました。当日は、「いちご王国とちぎ」の国王に扮した福田富一知事やタレントの安めぐみさん、すみれさんが登場し、報道陣などに「大粒」「美しく」「美味しい」など、スカイベリーの優れた品質をアピールしました。県では2014年冬からの本格出荷に向け、スカイベリーの高級いちごとしてのブランド定着に向けた栽培技術の確立や戦略的なプロモーションに取り組んでいます。



12月

県産農産物の利用拡大を期待
カゴメ(株)と農産物連携協定を締結

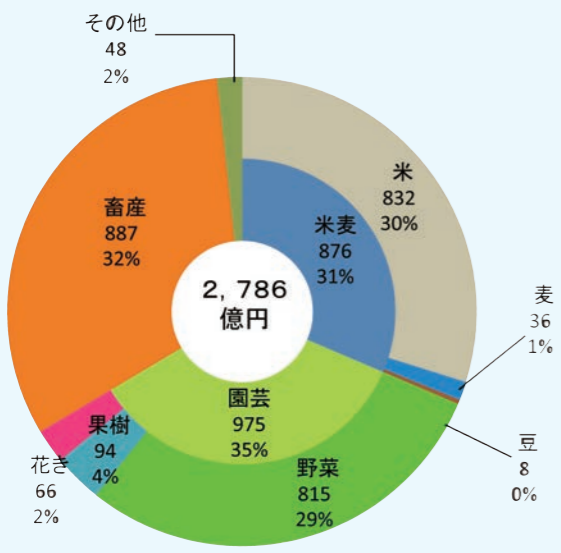
栃木県は12月6日にカゴメ(株)と「県産農産物の生産・加工・販売に関する連携協定」を締結しました。協定の一環として、県産とちおとめを使用したミックスジュースが全国で発売されました。今回の協定締結を契機として、県産農産物のさらなる活用や魅力ある商品づくり、ブランド価値の向上などに協力して取り組む予定です。



12月

過去最高の全国8位に！
2012年都道府県別農業産出額

農林水産省は、2012年の都道府県別の農業産出額を12月25日に公表しました。栃木県の2012年の農業産出額は2011年に比べ、主要品目である米や生乳、肉用牛、トマトなどの産出額が増加したことから127億円増加し、2千786億円となり、全国順位は過去最高の8位となりました。



12月

栃木に熱く恋して
栃木県のプロモーション映像を配信

本県の魅力を全国にPRするため、テレビ朝日の人気バラエティ番組「お願い！ランキング」とのコラボレーションによるプロモーション映像を制作し、12月20日からインターネット上に配信しました。また、JR新宿駅東口で発表イベントを開催し、福田知事から「栃木に熱く恋してほしい」と、本県の魅力をアピールしました。



12月

障害者の自立と社会参加を促進
とちぎハートバザールinけんちょう

12月6日、とちぎハートバザールinけんちょうが開催されました。県内の障害者就労支援事業所で作られたパンやお菓子、小物などバラエティに富んだ商品が販売されました。ナイチュウやとちまるくんが応援にかけつけ、来場者もお気に入りの一品を探するなど、交流を楽しんでいました。



とちぎ あゆみ の あゆみ 2013

月日	できごと
6	がんばろう！とちぎのモリ恵みたち！ inとちまるショップ(東京都7日まで)
8	災害時における老人福祉施設等の応援、協力等に関する基本協定の締結(県、栃木県老人福祉施設協議会、栃木県老人保健施設協会及び栃木県認知症高齢者グループホーム協会)
9	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
9	栃木県民防災の集い
10	第4回栃木県交通・生活安全安心県民大会
12	生物多様性普及啓発講座(19日とあわせて2回)
14	JRR山手線ラッピング電車による県産農産物の安全安心PRの実施(27日まで)
17	第50回栃木県統計大会
22	中国バイヤー招聘事業(25日まで)
23	人権講演会in日光
23	栃木県葬祭事業協同組合及び全日本葬祭業協同組合連合会との災害時における棺及び葬祭用品の供給等並びに遺体の搬送に関する協定締結
24	農業における放射性物質対策研修会
25	温暖化防止の推進に関する協定締結式(一社) 栃木県住宅協会
26	国民大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会(本県選手団を福島県・東京都に派遣2月1日まで)
26	心豊かな青少年を育む県民のつどいin矢板市
26	とちぎ農産物モニターとの交流会等による県産農産物の安全安心PRの実施(12月までに10回開催)
28	栃木県農業青年研究大会
4	とちぎ産業活力フォーラム2013
4	レッスンByとちぎ展&フロンティア企業展示会
5	第6回栃木県元気な農業コンクール表彰式
6	「とちぎの食の回廊」創作料理フェア
6	不動産取引セミナー
7	平成24年度栃木県森林・林業コンクール表彰式
7	栃木県文化振興大会
9	「とちぎ花フェスタ2013 in うつのみや」(11日まで)

月日	できごと
10	栃木の葉国体記念第30回健康マラソン大会
10	住まいの耐震博覧会2013春に出版(東京都、11日まで)
13	スーパーマーケット・トレードショー2013出展(東京ビッグサイト15日まで)
14	県立図書館耐震等改修後業務再開
14	環境とみどりの県民大会
16	国民大会冬季大会スキー競技会(本県選手団を秋田県に派遣 19日まで)
17	平成24年度「森の番人」養成講座(狩猟免許取得促進講座)
17	地域医療フォーラム(芳賀地区)
21	とちぎ和牛&栃木県産食品レセプション(香港)
24	栃木県総合型地域スポーツクラブ交流会
1	自殺対策強化月間県内一斉街頭キャンペーン
2	ひかりの郷日光国体1年前イベント(3日まで)
5	「森づくりに関する協定」締結式(富士通株那須工場)
8	「自転車安全利用キャンペーンパート3」を主要地方道宇都宮結城線中河原町交差点で実施
16	主要地方道宇都宮茂木線 市貝バイパス開通(市貝町)
9	地方から日本を元気に！地方分権・地方自治フォーラム
9	微小粒子状物質(PM2.5)に係る注意喚起体制確立
11	東日本大震災 とちぎ復興のつどい2013
13	ブロードバレーとちぎ観光地商談会(日光市)
14	農産物知的財産創出・活用大会
15	ミヤコタナゴ試験放流(大田原市羽田生息地保護区)
15	とちぎ発・田園風景と「食」の回廊を結ぶフォーラム(とちぎのふるさと田園風景百選写真コンテスト「夏秋編」表彰式)
16	主要地方道宇都宮茂木線 市貝バイパス開通(市貝町)
21	「森づくりに関する協定」締結式(ハイビック株)
21	栃木県食肉流通合理化計画策定
23	産業未来基地®とちぎ中央(みぶ羽生田産地)分譲開始及び主要地方道羽生田上がも蒲生線(助谷バイパス)供用開始記念式典
27	犬飼交番が開所
28	オンワード・グリーン・キャンペーン軍手寄贈式(株)オンワード樫山と(株)東武宇都宮百貨店が共同で軍手を寄贈
1	とちぎ就職応援プログラム事業(県庁雇用コース)入庁式

月日	できごと
1	県警察に捜査支援室と検視官室が発足
4	栃木県農業大学校入学式
5	県立高校再編計画による新校(黒磯南高校)開校式
5	苗木配布会などの緑化活動や県のイメージアップ活動を行う「マロニエメイツ」を任命(公社)とちぎ環境・みどり推進機構
5	自閉症啓発コンサート
5	春の交通安全県民総ぐるみ運動オープンングセレモニー
6	春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
15	栃木県石油商業組合と災害時協定を締結
17	春季苗木配布会(県民広場でムクゲの苗木300本を無料配布)
18	林業経営コンクール
19	栃木県誕生140年ロゴマーク発表
26	奥日光低公害バス・新「わたすげ号」運行開始
11	第27回栃木県看護大会及び第23回「看護の日」記念行事
14	ねんりんピックとちぎ2013(6月16日まで)
15	台湾観光プロモーション事業(20日まで)
18	奥日光いきものつながり調査会(1月まであわせて4回)
18	第51回栃木県植樹祭(野木町)
20	ねんりんピック栃木2014実行委員会第2回総会
20	栃木県道路河川愛護連合会総会
21	とちぎの元気な森づくり県民会議総会
22	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」1周年記念イベント
23	栃木県芸術祭(11月23日まで)
24	栃木県弁護士会と災害時協定を締結
25	栃木県立岡本台病院第7病棟(医療観察法病棟)開棟式(6月1日開棟)
26	とちぎの環境美化県民運動県民統一行動
26	那珂川あゆ街道魅力アップフェア
27	市町村長会議
31	とちぎ技術展示商談会in Hitachi
31	消費者のつどい
31	出水期に向けた初動対応訓練

8月				7月								6月																					
7	6	6	3	31	30	30	29	26	26	25	19	13	12	10	6	2	1	26	24	23	19	17	15	15	15	15	15	5	5				
鏝阿寺本堂国宝指定	なかがわ水遊園「おもしろ魚館」入館者300万人達成	とちぎ技術展示商談会inスバル	狩猟の魅力まるわかりフォーラム(狩猟免許取得促進講座)	とちぎ企業立地・定着促進セミナー(東京都)	平成26年度年度愛鳥週間ポスター原画コンクール表彰式	栃木県障害者技能競技大会(とちぎアピリンピック)	なし新品種「おりひめ」を開発	献血功労者表彰式	食の夏祭り「美味しく、涼しく、HAPPYに」	の壬生町での受入れ	災害廃棄物広域処理受入れ終了(宮城県多賀城市の災害廃棄物(木くず)の壬生町での受入れ)	「森づくりに関する協定」締結式(一財)セブン・イレブン記念財団	井頭公園一万人フルリニューアルオープン	防災図上訓練	栃木県行政書士会と災害時協定を締結	第47回交通安全安全子供自転車大会	とちぎ農業ビジネススクール開講式	県子どもを犯罪の被害から守る条例施行	栃木県ほ場整備連絡協議会20周年記念大会	原子力防災訓練(県内初)	男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	中小企業事業継続計画(BCP)策定支援セミナー	シンガポールへのぶどうの輸出再開	水防技術講習会	栃木県内の新4号国道6車線化・国道4号4車線化実現 県民祝賀会	とちぎナイスハートバザールinけんちょう	栃木県誕生140年栃木県民の日記念イベント	県民祝賀会開催	新4号国道6車線・国道4号4車線化	「やすらぎの栃木路」夏の観光誘客キャンペーン(9月30日まで)	プレミアム付宿泊旅行券「元気度日本一 とちぎ券」(夏季)発行(利用期間9月30日まで)	第11回とちぎ食品安全フォーラム(BSE対策の見直しについて)	不法投棄ハトロール出発式

9月				8月																									
10	8	7	7	6	3	1	1	30	30	30	28	28	25	24	23	23	23	22	22	21	21	19	15	9	9	8	8	7	7
自殺予防週間県内一斉街頭キャンペーン	地域医療フォーラム(下野地区)	発達障害セミナー(とちぎリハビリテーションセンター)	アメリカインディアナ州知事来県	とちぎナイスハートバザールinとちぎん	第53回栃木県公衆衛生大会・第51回栃木県公衆衛生学会・平成25年度救急医療週間記念大会	栃木県・足利市総合防災訓練	那須クリーンキャンペーン&清掃登山	食品表示セミナー	ねんりんピック栃木2014 400日前イベント	栃木県スポーツ功労者表彰式(宇賀耶早紀選手)	第19回栃木県民福祉のつどい	「森づくりに関する協定」締結式(住友大阪セメント株)	林業センター公開デー	下水道フェスティバル(鬼怒川上流浄化センター)	一般県道山形寺岡線 赤見バイパス 開通(佐野市)	石油連盟と災害時覚書を締結	株ケイヨーと災害時協定を締結	とちぎの食と田園魅力発信フォーラム(とちぎのふるさと田園風景百選写真コンテスト「冬春編」表彰式)	アグリフードEXPOにきのこ等特用林産物の出展(東京、23日まで)	映画と講演のつどい(テーマ「インターネットと人権」)	とちぎのヘルシーグルメ選手権2次審査会が入賞作品の決定	奥日光カレッジ(青少年対象の奥日光の湿原等の学習会、20日、23日とあわせて3回実施)	国際食品見本市「FOOD EXPO 2013」出展(香港 17日まで)	第64回利根川治水同盟治水大会23	利根川流域の治水・利水を決議 足利で治水大会	北関東磐越5県ループ「2013サマーフェスティバルin海ほたる」	いじめ防止県民大会	第35回「全日本中学生水の作文コンクール」栃木県審査会表彰式	巡回住宅相談会(2月19日まで全10回)

9月													9月												
29	29	29	28	28	28	28	26	26	26	24	22	21	21	21	21	20	20	19	18	14	14	13	12	11	11
第9回栃木県障害者スポーツ大会	一般国道294号 小川南バイパス開通(那珂川町)	一般国道119号(旧一般県道大桑大沢線) 大沢バイパス開通(日光市)	北那須浄化センターのつどい(北那須浄化センター)	食と田園のウォーキングツアー「八溝そば、那珂川あゆ街道ウォーキング」	とちぎ木材フェスティバル「もくもくまつり2013」	国民体育大会本大会(本県選手団を東京都に派遣10月8日まで)	ねんりんピックよさこい高知 2013栃木県選手団結団式	住宅性能表示制度講習会「スマートハウスの提案」(小山市)	フレッシュファーマーズマルシェ2013	栃木県スポーツ功労者表彰式(高藤直寿選手)	2013とちぎ動物愛護フェスティバル	少年の主張発表栃木県大会	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)	食と田園のウォーキングツアー「ぶどうの里で歴史探訪・田園百選西山の眺望ウォーキング」	子どもたちの木工工作コンクール表彰式	きたかんハイウェイドライブフェスタinみぶハイウェイパークでの食の街道出展	とちぎのきのこ大使、おいしいきのこ届け隊による店頭キャンペーンを実施(14年3月末まで)	栃木県新観光キャッチコピー「本物の出会い 栃木」を発表	秋の交通安全行事「交通安全の火」分火式	知事と元ジュニア知事さんのつどい	第10回なんびょうサポートとちぎのつどい	国民体育大会本大会結団式(総合教育センター)	住宅性能表示制度講習会「スマートハウスの提案」(小山市)	全国初の寺山ダムESCO事業 発電開始	とちぎ発!エコダム宣言寺山ダムESCO事業発電開始

10~12月

Calendar for October (10月) with dates 26 to 2 and event descriptions in Japanese.

Calendar for November (11月) with dates 14 to 26 and event descriptions in Japanese.

Calendar for December (12月) with dates 24 to 14 and event descriptions in Japanese.

とちぎ県政のあゆみ 2013

2014年3月1日発行 発行責任 栃木県広報課 編集発行 栃木県広報協会
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20 ☎ 028-623-2191